

## ～12カ国のJICAの研修生が地すべり対策を見学～

5月25日(金)にイラン、スリランカ、タイ、チリ、ブータン、ブラジル、ベトナム、ペルー、マケドニア旧ユーゴスラビア共和国、ミャンマー、モロッコ、リベリアの12カ国のJICA研修生、研修講師他、15名が旧山古志 芋川流域の災害復旧箇所を見学し、中越大震災の被災状況や河道閉塞の対応などについて学びました。東竹沢地区の現場見学では、湯沢砂防スペシャルエンジニア(YSSE)の五十嵐さんが「河道閉塞の初期対応」などの説明を行いました。

研修に来られた方は、防災対策に携わる中央政府又は地方政府の公務員で、熱心に見学していました。

また、やまこし復興交流館「おらたる」の見学も行い、被害状況の説明を受けました。湯沢砂防事務所では、このような研修を今後も支援していきます。



東竹沢地区 河道閉塞現場の見学



復興交流館(おらたる)の見学



東竹沢地区 河道閉塞現場にて



山古志発祥「錦鯉」に興味津々